

〔令和6年10月11日（金）  
にぎたつ会館〕

本日は、大変御多用の中、県立学校はもとより、国立・私立学校からも、学校長の皆様に御参加いただき、誠にありがとうございます。

また、皆様方には、日頃から、愛媛の未来を担う人材の育成に御尽力いただいておりますことに対して、深く敬意を表しますとともに、厚くお礼を申し上げます。

さて、各校におかれましては、「第3期愛媛県教育振興に関する大綱」の振興方針に掲げる「未来を切り拓く子どもたちの育成」に基づき、児童生徒の学力の定着・向上はもとより、自然や産業特性を活かした体験活動やキャリア教育、時代の要請に応える人材育成など、多様な教育活動を推進いただいているところです。

特に、高校においては、「ソーシャルチャレンジfor High School事業」等を通じて、地域の課題について企業等と連携しながら解決を図る体験的な活動や、愛媛で働く魅力の発信、主権者教育の実施など、地域に愛着を持ち、地域社会で主体的に活躍できる人材を育成する取組を推進していただいております。こうした取組の結果、生徒を対象として実施したアンケートでは、地域への愛着度、県内企業の認知度ともに高い水準となっており、各高校における熱心な活動が着実に成果を挙げているものと考えております。

皆様方には、今後とも、生徒が校内外において、多くの人々と交流し、多様な価値観に触れ合うことができる環境をつくり、全ての生徒が夢を実現できる魅力的な教育を提供できるよう、そして、大綱に掲げる「教育立県えひめ」の理念を御理解いただき、地域社会の良き創り手となる、「たくましい」生徒の育成に御協力をお願いいたします。

また、県立学校振興計画につきましては、新校及び新学科・コースなどの開設に向けて、今年度は、教育課程の編成や、学校の魅力のPRなどを中心に、着実に準備を進めていただいております。振興計画の推進のためには、

全ての県立高校等の関係者の共通理解が必要となりますので、引き続き、計画の趣旨を御理解いただくとともに、その円滑な実施に御協力いただきますようお願いいたします。

加えて、今年度から、高校入試において、推薦入学者選抜を廃止し、特色入学者選抜を導入することとしておりますが、その最大の目的は、県立高校進学を目指す中学生が、自身の強みをこれまで以上に柔軟にアピールでき、また、受け入れる高校側も自校の強みである特色や魅力をより強くアピールし、その方向性に合う生徒を選抜できる点にあります。各高校においては、スクール・ポリシーを活用しながら、自校の特色や魅力の積極的な発信に努めるとともに、自校の「求める生徒像」に合う入学者の選抜方法の検討など、円滑な実施に向けて万全の準備をお願いいたします。

一方で、職務の多忙化や学校を取り巻く環境が変化する中、教職員の長時間労働が問題視され、時間外勤務の縮減やメンタルヘルス不調への対応が課題となっております。県としましても、教職員が誇りややりがいを持って、安心して働くことができるよう、学校の働き方改革に取り組んでいるところですが、取組を円滑に進め、狙い通りに目的を達成していくためには、学校運営の最高責任者である皆様方の理解と協力が欠かせません。

どうか皆様方には、強力なリーダーシップを発揮し、引き続き、業務改善に努めていただくとともに、風通しのよい、教職員一人一人に配慮した、働きやすい職場づくりに取り組んでいただきますようお願いいたします。

終わりになりますが、本日の研究協議会が皆様にとって実り多いものとなりますことを祈念いたしまして、開会の挨拶といたします。